

一般社団法人 半導体産業人協会
理事長 橋本浩一
講演企画委員長 増原利明

2017年2月度 SSIS フォーラム開催案内

平素、SSIS フォーラムにご出席いただき、厚くお礼申し上げます。2017年2月度フォーラムは下記の内容で開催する予定です。奮ってご出席、ご討論にご参加いただければ幸いです。

講演タイトル

「左脳・右脳型集積によるモバイル人工知能を目指して」

講師

黒田 忠広氏 慶應義塾大学教授/博士(工学)

< 講演要旨 >

ENIACは布線論理(wired logic)方式のコンピュータでした。人手による接続が500万箇所もあり、大規模なシステムの接続が大問題でした。この問題を解く中で生まれた発明が、プログラム内蔵方式(ノイマンアーキテクチャ)と集積回路でした。しかしながら、ムーアの法則は終焉を迎えようとしています。チップ内での集積のみに頼ることができなくなった現在においては、接続問題と電力問題の一段と画期的な解が求められています。

一方、チップの性能が十分に高くなったことで、人工知能が多くの現実問題に役立つようになりました。ニューラルネットとディープラーニングが画像認識や言語処理で目覚ましい成果をあげています。このような脳型情報処理は直感的・空間的であり、従来の論理的・計算的な情報処理とは異なるアーキテクチャが求められます。GPUやFPGAではその性能を十分に発現できません。ニューラルネットの実装には、手続きをプログラムして逐次に実行するノイマン型よりも、構造をプログラムして並列に実行する布線論理型の方が相応しいと考えています。

科学技術振興機構(JST)事業のACCELでは、プログラム内蔵方式の左脳型コンピュータと仮想布線論理方式の右脳型コンピュータを集積したモバイル人工知能を創出し、左脳と右脳が相互補完する新しい情報処理の原理を探究します。本講演では、集積回路とコンピュータと人工知能の来し方行く末についてお話します。

< 講師紹介 >

黒田 忠広氏（慶應義塾大学教授）

1982年東京大学工学部電気工学科卒業。工学博士。同年(株)東芝入社。1988年～90年カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員。2000年に慶應義塾大学に移り、2002年より教授。2007年)カリフォルニア大学バークレイ校MacKayProfessor。ISSCCで37件の論文、VLSIシンポジウムで26件、CICCで19件、A-SSCCで17件の論文を発表。22件の著書を著し、200件以上の特許を取得。IEEE SSCS監理委員会メンバー、IEEE上級講師、IEEE/SSCS Region10代表を歴任。IEEEフェロー。電子情報通信学会フェロー。VLSIシンポジウムおよびA-SSCC委員長。

表彰

IEEE Fellow (2006年)

IEEE Distinguished Lecturer (IEEE SSCS、2007年)

業績賞（電子情報通信学会、2009年）

エレクトロニクスソサイエティ賞（電子情報通信学会、2011年）

ISSCC最多論文賞:1954-2013年の60年間で世界6位、2004-2013年の10年間で世界5位（2013年）

電子情報通信学会フェロー（2013年）

< 開催要領 >

1. 日時 2017年2月23日(木) 17時30分～20時
2. 場所 林野会館(文京区大塚、地下鉄茗荷谷) 5F ホール
3. プログラム

17:30～19:00 講演 黒田 忠広氏

「左脳・右脳型集積によるモバイル人工知能を目指して」

19:00～20:00 交流会 (@林野会館 6F 604号室)

4. 参加費

SSIS 会員 3,000 円(交流会込み)

非会員 4,000 円(講演のみ)

6,000 円(講演および交流会)

参加費は当日会場にて申し受けます。なお、会員でない方は日の入会が可能です。

5. 参加申し込み

SSIS 事務局行(FAX:03-6457-3246 E-Mail :info@ssis.or.jp でも承ります)

SSIS フォーラム 参加申込票

2月23日(木)のSSISフォーラムに出席します。

お名前:

電話 :

所属 :

区分 : SSIS 会員 []

一般 [] 講演のみ参加、[] 講演および交流会参加



SSIS フォーラムの情報および協会の活動の最新情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ssis.or.jp>